

第9回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会）

議事要旨

■日 時：令和3年3月23日（火）14:00～15:50

■場 所：釧路市役所 防災庁舎5階 災害対策本部室

■出席者：末頁のとおり

■議 事

(1) 第8回協議会（準備会）の議事概要

(2) 事業構想編（素案）のパブリックコメントの実施結果について

(3) 事業構想編（案）について

(4) JR釧路駅周辺の再整備の検討に係るアンケート調査の補足調査（ヒアリング調査）について

(5) その他

■議題（3）事業構想編（案）について

（高野座長）

- ・前回協議会やパブリックコメントの意見にも挙げられていた冬でも人が集まる状況づくりについて、事務局としてどのような方向性があると思われるか。

（事務局）

- ・イメージとしては、釧路川のリバーサイドでスケートリンクを実施して大好評だったという実績があるため、これを駅前を持ってくるとか、駅前的大街区を単なるオープンスペースではなく建物の1階部分が少し広い空間で冬でも快適に過ごせる空間を目指すとか、そういう方向性を今後検討していきたいと考えている。

（岡本委員）

- ・幣舞橋は夕日のビュースポットとしてここ数年関心が高まってきており、歴史的にもかなり前から景観資源として認知されてきた。現在はコロナ禍で厳しい状況ではあるが、今後、幣舞橋と釧路川の河川敷というのは今後の発展の方向性として色々あると考えている。

（松井委員）

- ・パブリックコメントを読んでいると、事業構想編で伝えようとしていることが市民にうまく理解されていないという印象を受ける。一番多い意見は、高架化したときに共栄新橋大通と北大通がなぜL字型なのかというものであった。事業構想編で目指しているのは、車を邪魔するという事ではなくて、多くの人たちが車でも公共交通でも同じようにアクセスしやすいまちにすること。通過を期待している人にとっては不便かもしれないが、それ以外のまちづくりを期待している人たちは満足されている結果となっているので、事業構想編の内容を理解していただけたと思う。
- ・L字型にするというのは物理的にベターというよりも、将来の土地利用を考えた時に、直線よりもL字型の方がよいということだと思う。我々はいいアイデアがあればそれを採択するというスタンス。将来の土地利用の視点も含めて、違う手法があれば、L字型に固執するものではない。市民のためになるかどうかという視点で、パブリックコメントの意見を捉える必要がある。

(北海道開発局)

- ・ウォークアブルという視点で色々書き込んでいただいているが、単に歩道部を広げるのではなくて、沿道の商店の軒先も含めて一体的に空間形成していくことがウォークアブルだと思っている。
- ・周りの商店の方々もイメージが湧くような表現方法が必要と思う。

(事務局)

- ・ウォークアブル化の検討に関しては、RINK 釧路まちづくり交通戦略会議で、沿線の商店街の皆さまが入った中で検討を進めている。次年度以降も引き続き沿道の商店街の皆さまと、このフリースペースの活用の仕方も含めて検討を継続していく方向性が決まっている。賑わいのつくり方や色々な活用に向けた方策について、引き続き、関係機関や商店街の皆さまと協議を行う。

(北海道開発局)

- ・パブリックコメントで意見を頂いた方の属性は把握しているか。事業構想編について市民理解を深めていくためには、ここをきちんと分析したうえで、届いていない層に情報発信をしていくことが効果的ではないか。

(事務局)

- ・意見を頂いた全ての方が年齢や性別などを記していないため、全て把握できてはいない。平均的には、若い方から高齢者の方まで幅広い方から意見をいただいている。
- ・具体的な意見を見ると、年配の方は鉄道高架に思い入れがあり、鉄道高架をやるなら北大通を直線で繋ぐべき、L字型に変えるのはおかしいという意見が多かった。
- ・実際に市役所まで来ていただいて話をした方々もおり、その時にまず聞かれるのが、すぐやるのか、5年位でできるのかというスケジュールのこと。20年先の都心部を見たまちづくりの計画であり、将来の若い人たちが暮らしやすいまちを考えていくための計画という趣旨を丁寧に説明することで、ほとんどの方にご理解いただいている。
- ・来年度以降は説明会を複数回開催して、市民の皆さまの理解を得ていきたいと考えている。

(高野座長)

- ・市民への説明会はどのような形で実施する予定か。

(事務局)

- ・コロナ禍のため、国際交流センターや鳥取コミュニティセンターのような大きな会場で人数を絞り、かつ、人数を絞るかわりに複数回開催して、より多くの市民の皆さまにご理解が得られるよう工夫していきたいと考えている。

■議題（４）JR釧路駅周辺の再整備の検討に係るアンケート調査の補足調査（ヒアリング調査）について

（北海道開発局）

- ・民間事業者から“道の駅的な施設”という提案があったが、道の駅というのは郊外部や町村部の幹線道路沿道に設置されているものが多いという認識がある。都心部のなかでの道の駅的な施設という提案がどのような内容なのか素朴な興味があり、情報があれば教えていただきたい。

（事務局）

- ・道の駅は、今となっては地産飲食や地産販売に重点的に力を入れているが、かつて、国交省の道の駅に係る委員会では、観光客に加えて地元の人も利用する施設が望ましいという意見が出ていたとのこと。それが釧路でも当てはまるのではということで、道の駅というより、地産飲食、地産販売の導入機能が面白いという提案をいただいた。

（高野座長）

- ・富良野マルシェは、富良野のまちなかで地産販売を実施しており成功している。
- ・道の駅とは違うかもしれないが、地産の物を売ること、市民の方も相当来ているし、もちろん旅行者の方にも利用されている。釧路でいうと海産物を販売する場であったり、市民の方や多くの方が集まったりするような場のイメージかと思う。
- ・北海道内でまちの中心部に道の駅のような機能がある事例はあるか。

（北海道開発局）

- ・旭川、稚内にはまちなかに道の駅がある。
- ・最近ではまちなかの生活を支援するための道の駅という事例もある。地産の食べ物もそうだし、地域の方が利用する役場機能が中に入っていたりする。
- ・役場、まちづくりセンター、バスターミナル、高齢者施設などを一緒につくって、公共施設を集約してコンパクトにして、道の駅に来れば何でもできるような機能の持たせ方はあり得ると思う。
- ・ただし、道の駅となると車を呼び込むということになるので、都心部は通過交通を抑制するという今の考えと逆行してしまう懸念もある。

（高野座長）

- ・最近では防災機能も道の駅に求められている。釧路では津波に対する備えとして、防災機能を併せて考えていくなどのアイデアも展開できるとよい。

（松井委員）

- ・釧路は長期滞在の利用が多いので、長期滞在者の意向をアンケートで聞けるとよい。
- ・都心部にあるべき機能、今後のアイデアの参考になるような意見が拾えるアンケートがあれば非常にいいのではないかと思う。

（岡本委員）

- ・長期滞在者が釧路市民と同様のサービスを受けられる支援制度として、ステイメンバーズカードを発行している。公共施設の入館料が割引になるなど様々なメリットがあり、市の窓口で発行している。

- ・長期滞在ビジネス研究会において、長期滞在者が釧路でどういう行動をしたのか、どういった点で不便を感じたのかなどを把握し、継続的に来訪いただくための改善策を検討している。
- ・都心部に必要な都市機能について把握していないが、私が間接的に接点を持ったなかでは、都心部からデパートがなくなって以来、都心部の利便性は下がっているというような声は聞いている。
- ・都心部近くに住まわれている長期滞在者へのアプローチという点では、都心部に公共施設が集積している点に着目したい。図書館、芸術館や国際交流センターがあるので、例えば、手芸や書道のサークルに入りたいというニーズに対して、一見さんであってもサークル活動ができる環境がある。ご主人がアウトドアに行かれている間に奥さんは自分の時間を過ごせて、それぞれの時間を持てる。釧路は何回来てもそういう点でいろいろな事ができると言われる。
- ・長期滞在者は市民以上に和商市場に行かれる頻度が高い。車で動かないという方もいらっしゃるので、郊外まで行くというより、都心部で過ごせる環境づくりが望ましい。
- ・来年度もワーケーション事業の取組を進める。産業推進室や観光振興室と連携し、アウトドアとアフターのレクリエーションを充実する取組を進める予定であり、民間の方で拠点づくりを進めている。都心部では、フィッシャーマンズワーフにワーケーションに対応した個別スペースを形成し、庁内の関係部局の多数にわたるシティプロポジションのもとでプランニングしていこうと考えている。
- ・長期滞在と、アウトドア・レクリエーション・食など様々なものを結び付けながら情報発信をしていきたいと思っている。

(松井委員)

- ・コロナ禍では悪いことばかりだったが、良かった事はリモートがちゃんと機能するということが実績としてわかったことである。空間の距離を克服できることがコロナ禍で分かったので、冷涼な気候の釧路ならではのメリットを更に強く打ち出すことができる。
- ・ここで仕事をした方が気持ち良い、美味しいご飯が食べられる、アウトドアが充実している、そういったことが満たされると、リモートを前提として働いている人達はワーケーションをもっと選択することになる。先程話のあったステイメンバーシップカードも非常に良い仕組みである。更にもう一歩進んで、そういう人達がこのまちで事業を展開する、または起業する、ということを可能性として考えることも良い取組だと思うので、その部分を補完するようなアイデアを事業構想編に組み込めることができれば非常に良いと思う。

(岡本委員)

- ・長期滞在者は毎年リピートしている方々が多いので、観光客ほど落ち込んでおらず、例年の5割は来ていただいている。長期滞在者は、観光客とは異なる層であり、釧路市に住民票は持たないがこの地域で夏を過ごす市民という認識を持っている。

以上

第9回 釧路都心部まちづくり推進会議(準備会) 出席者名簿

令和3年3月23日(火) 14:00~15:50

場所:釧路市役所 防災庁舎5階 災害対策本部室

	団体名・所属部署名		役職	氏名	備考
委員	有識者	北海道大学 公共政策学連携研究部	教授	高野 伸栄	(座長)
		日本測地設計(株)	副社長	松井 直人	
		法政大学デザイン工学部 都市デザイン工学科	教授	高見 公雄	(欠席)
	釧路市	総合政策部	部長	岡本 満幸	
		産業振興部	部長	秋里 喜久治	(欠席)
		産業振興部	観光振興担当部長	菅野 隆博	
		都市整備部	部長	市原 義久	
オブザーバー	北海道開発局	事業振興部都市住宅課	都市事業管理官	福原 英之	
	北海道開発局 釧路開発建設部	道路計画課	課長	三浦 之裕	
	北海道建設部 まちづくり局	都市環境課	課長補佐	山下 誠一	
		都市環境課街路計画係	係長	柴田 泰孝	
		都市環境課街路計画係	技師	本間 一誠	
		都市環境課区画整理係	係長	大島 吾一	
	北海道釧路総合振興局 釧路建設管理部	事業室道路課	道路課長	新田 和宏	
北海道旅客鉄道(株)	総合企画本部地域計画部	主幹	野澤 憲士	(欠席)	
事務局	釧路市	総合政策部	都心部まちづくり 担当部長	米山 晋司	
		総合政策部都心部まちづくり推進室	室長	吉岡 亨	
		総合政策部都心部まちづくり推進室	室長補佐	山田 智史	
		総合政策部都心部まちづくり推進室	専門員	吉田 良平	
	公益社団法人 日本交通計画協会				